



張ってください」。赤本幹事→「藤崎さん、台湾での1年間満喫してください」。福家会員→「妻の誕生日に美しい胡蝶蘭をありがとうございます」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤美恵子会員、安藤亨会員、井上勇会員、石野会員、石坂会員、北島会員、小島会員、小塚会員、中島健児会員、中島真一会員、中村会員、親松会員、尾崎会員、佐藤会員、嶋会員、白井会員、鈴木文夫会員、鈴木清会員、玉井会員、寺川会員、鵜飼会員、渡邊会員、金子会員、安藤志子会員。

#### <米山奨学委員会>

嶋委員長

安藤美恵子会員→「お誕生日にアロハとお花を頂きありがとうございます」。

#### 本日のプログラム

##### <委員会報告>

クラブ会報・ホームページ委員会

寺川委員長

8月3日に行われました広報セミナーで石井富雄地区広報委員長よりお話を伺いました。



まずロータリークラブの会員減少について大変心配しておられました。「ロータリークラブの活動を一般の方によく理解してもらい、その上で活動内容に対して高い評価を得なければなりません。高い評価を頂くことでロータリアンとして誇りを持って、誇りを持てれば退会することもなくなるのではないのでしょうか」とのお話でした。また「マスコミに取り上げられるような奉仕の企画を立てて実施することが重要ではないでしょうか。そしてそれをロータリーの中だけで実施するのではなく広く外に向かって広報することが必要です」。とも話されていました。

石井委員長のお話を聞きながら思ったことは、当クラブで実施している「ラオス・プロジェクト」ならマスコミに取り上げられるかもしれないということです。なぜラオスに歯ブラシを届けるのか広報することで、マスコミを通じてロータリーの活動を世間に知らせることのできるニュースソースになり得るのではないかと思います。

本日藤崎さんが来られています、青少年交換プロジェクトをロータリークラブが行っていることはあまり認知されていないようです。ロータリークラブのロゴマークを使用することができなかつたのが知られていない原因の1つであるようです。現在は使ってよいことになったので、会社の名刺などにロ

ータリークラブのロゴマークを入れてもらうなどしてロータリークラブの活動を知って頂ければと話されていました。日常の中でロータリアンであることの素晴らしさを一般の方に広めてください。ロータリーのよいイメージを広めて退会を防ぎ新しい会員を募るということをしていかねばならないとお話でした。

ロータリー研修委員会

井上勇委員長

今年度の川崎百合丘ロータリークラブにはロータリー研修委員会という研修を行う委員会があるのですが、今



までは情報委員会という名称でした。情報委員会は主に新入会員へのロータリークラブの情報教育を行う部門でした。今回からなぜロータリー研修委員会という名称に変わったかと言いますと、2004年の手続き要覧にロータリー情報委員会というのはなくなり、2007年の要覧ではロータリー研修委員会という名称に変わっています。第2590地区の中でもその時点で変更したクラブもありますし引き続きロータリー情報委員会としてやってきたところもあります。百合丘ロータリークラブは後者だったのですが全て統一することとなりました。内容は情報委員会が行っていたことを引き継ぎます。メインとなるのは新入会員に対する情報教育、次に新入会員に限らずクラブ会員に対する研修です。どういう研修を行えばいいかということですが、ロータリークラブ内のわからないこと、変更したことなどその都度の研修、あるいは他の地区の委員長に来て頂き研修を行うなどです。

今までも様々な研修を行っていたのですが、それをロータリー研修委員会が主となって行うようになります。その中で広報と絡み合ったらロータリーを広めることができるか、その中から新入会員を新たに増やすことができるか、入会したからにはすぐに退会することのないよう、情報教育、コミュニケーション、親睦等の部分をロータリー研修委員会で行っていきたいと思います。すぐに全てをやることは難しいので次年度以降少しずつ積み重ねてロータリー研修委員会をうまく機能させることができればと考えています。今年度は始めの年ですので3名の新入会員に対する研修を早急に行いたいと思っております。